

# 市民意識調査の結果

# 働く場の確保への不満が増加

市民の皆さんが市政の現状をどのように感じ、どのように評価をしているのかを聞き、今後の市政運営や後期計画の実施に当たっての基礎資料とするため、昨年12月に市民意識調査（アンケート）を行いました。この調査は、個別施策57項目について、施策に対する「満足度」と「重要度」を5段階で評価していただきました。また、これから市が行っていく事業などについての個別事項を伺いました。

今、市民の皆さんが市をどのように考えているのか、調査結果の一部を紹介いたします。詳細は、市役所情報公開コーナーや市ウェブサイト（<http://www.city.ena.lg.jp>）などで、ご覧いただけます。

問い合わせ 企画課 26-2111（内線330）



▲調査票（左）と調査結果報告書（右）

### 調査の概要

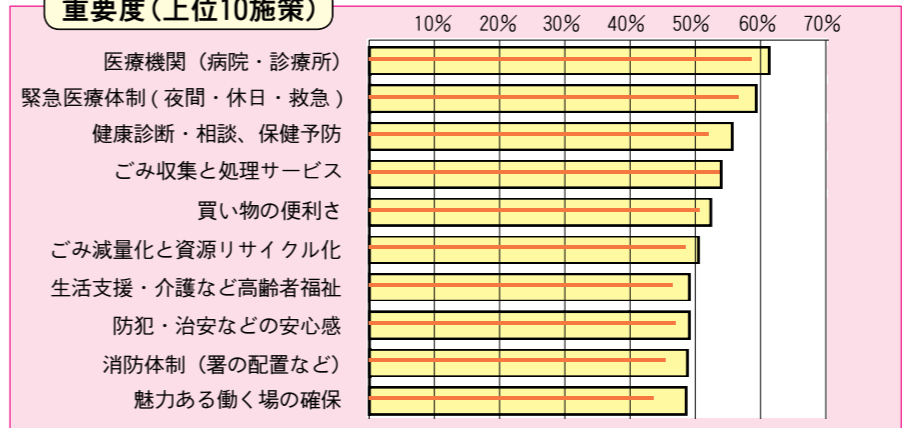
調査対象：20歳以上の市民 2,500人  
 抽出方法：無作為抽出法  
 調査方法：郵送配布、郵送回収  
 調査時期：平成24年12月  
 回収結果：1,411人（有効回収率56.4%）  
 ※平成23年度回収結果1,479人（有効回収率59.2%）

### 「ごみ減量化と資源リサイクル化」の満足度は増

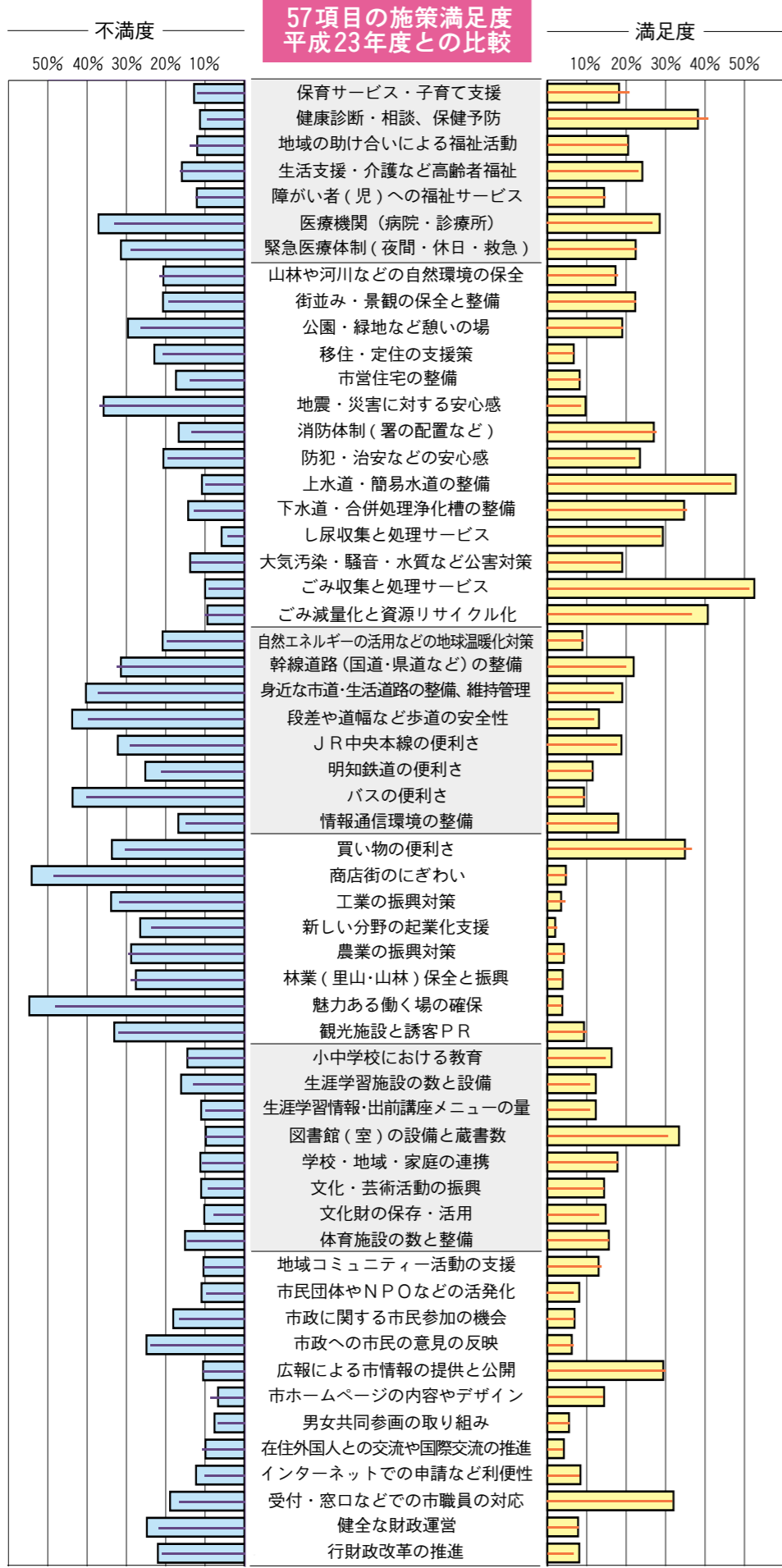
重要度（高い）と「やや高い」の合算）の高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」が61・6割、「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」が59・6割、「健康診断・相談、保健予防」が55・9割、「ごみ収集と処理サービス」が54・2割、「買い物の便利さ」が52・6割、「ごみ減量化と資源リサイクル化」が50・7割となっています。

満足度（満足）と「やや満足」の合算）の高い項目は、「ごみ収集と処理サービス」が52・5割、「下水道・簡易水道の整備」が47・8割、「ごみ減量化と資源リサイクル化」が40・7割となっています。満足度が前年度より高くなった項目は、特に「ごみ減量化と資源リサイクル化」（3・6ポイント増）、「図書館（室）の設備と蔵書数」（2・4ポイント増）

### 重要度（上位10施策）



今回（平成24年度）の調査結果  
平成23年度の調査結果



今回（平成24年度）の調査結果  
平成23年度の調査結果

で上昇しています。不満度（やや不満）と「不満」の合算）の高い項目は、「魅力ある働く場の確保」が54・1割、「段差や道幅など歩道の安全性」が43・8割となっています。不満度が前年度より高くなった項目は、特に「魅力ある働く場の確保」

（6・6ポイント増）、「商店街のにぎわい」（5・6ポイント増）で上昇しています。重点課題は「医療」や「雇用」など11項目。満足度と重要度を指数化し評価したところ、重要度が高く、満足度の低い

「重点課題」に該当したのは、健康福祉分野の「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」、生活環境分野の「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」、都市・交流基盤分野の「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安

全性」「幹線道路（国道・県道など）の整備」「JR中央線の便利さ」、産業振興分野の「魅力ある働く場の確保」、住民参画分野の「健全な財政運営」「行政改革の推進」の11項目です。これらの課題は、満足度が向上するよう、重点的に取り組む必要があります。